

2021 年 6 月 1 日

製造現場の働き方改革を支援する 協働ロボット自動化セル “Ez LOADER 10”

ヤマザキマザック株式会社（社長：山崎高嗣、愛知県大口町、TEL：0587-95-1131）は、Ez LOADER 10（イージーローダー10）の販売を開始します。

昨今、各産業では人手不足やコロナ禍などを背景として、働き方の見直しが求められています。製造現場では人的資源を高付加価値の業務にシフトし、反復作業をロボットで代替する動きが広がっています。一方ロボットは導入後の移設が困難であるため、設備機ごとで生産量の変動が激しい小規模企業では導入の障害ともなっています。このような背景を踏まえ、当社は誰でも簡単にセットアップが可能で、導入後の移設にフレキシブルに対応する自動化セル「Ez LOADER 10」を開発しました。

Ez LOADER 10 は協働ロボットとビジョンセンサ、専用ソフトウェア内蔵のタブレット端末で構成。協働ロボットの採用により安全・コンパクトな自動化システムの構築を可能としています。工作機械との接続はケーブルをつなぐだけで完了、位置補正はビジョンセンサが自動で行うため、わずか 15 分で設置することができます。

接続対象機種は、当社製の中小型の複合加工機・CNC 旋盤・立形マシニングセンタなどです。これら複数種類の工作機械が稼働する工場でも、1 台の Ez LOADER 10 の導入でさまざまな設備機の自動化に対応できます。接続機種を時間・日単位で頻繁に切り替える運用や、人に寄り添い作業分担させるといった運用も可能。スペース・人員が限られ、設備機ごとの生産量が常時変動するような工場でも、Ez LOADER 10 の効果的な活用で働き方を劇的に変えることができます。

動作設定は専用のテンプレート（ワーク台）に加工物をセットし、ワークの高さなどわずかな情報をタブレット端末に入力するだけで完了。煩雑なロボットティーチング作業は不要であり、生産開始までのリードタイムを大幅に短縮します。

また Ez LOADER 10 は、動作設定のカスタマイズが可能な「ダイレクトティーチ機能」を搭載。手動でロボットアームを動かすことで任意の動作経路を記憶させ、専用ソフトウェア上で作業内容を簡単に追加・変更することができます。ワークに付着した水・切屑の除去動作や、ワーク搬送装置など周辺機器との連携動作など、プログラミングの専門知識が無くてもお客様独自の動作設定が可能です。

今後も当社は、お客様のニーズに合わせた最適な自動化ソリューションの提供により、製造現場の働き方改革を支援します。



【Ez LOADER 10 と CNC 旋盤（QTE-200 SG）との接続例】

掲載されているプレスリリースは、報道関係者へ発表した情報の要約です。
予告無く内容が変更される場合がありますので、あらかじめご了承ください

お問合せ先：ヤマザキマザック株式会社 人事・総務部 広報チーム
TEL: 0587-95-6849 www.mazak.jp